

# やま だ 山田のイチョウ

【平成14年4月22日 市指定 天然記念物】

山田のイチョウは国道 385 号沿いにあり、樹頂が切り落とされた今も高さ 26m を測る大木です。隣接する国道は肥前・筑前街道として、古くは平安時代末期から、通行や物資の運搬に使用されてきた歴史ある道です。現在イチョウがあるのは山田区公民館そばの浄光寺境内で、浄光寺はもともと寺山田にあったお寺を江戸時代の正徳年間（1711～1716 年）に現在地へ移したものと古い記録に残っています。イチョウの木がそのとき植えられたものだとすれば、イチョウの樹齢は 300 年以上と考えられます。



## ▲山田区の区章

イチョウは山田区のシンボルとして、区の人々によって今日まで大切に守られ、区章にも採用されています。

## ◀秋の山田のイチョウ

黄葉の時期は大木が黄金色に染まり、見る人を楽しませています。

葉が黄色くなるものを「黄葉」、赤くなるものを「紅葉」と言います。  
「黄葉」は『万葉集』にもみられる表現です。